

生産者「花のプリンス倶楽部」の花育

～ JA 深谷鉢物研究会青年部の「キッズガーデニング教室」～

作成者：花育指導者 高倉なを

鉢物・花苗生産者部会の青年部の活動として、地域のイベントや小学校で、親子または小学生を対象に、寄せ植え教室を行っている。地元で生産される花の認知度を高め、また、花を継続して楽しんでもらうために近隣園芸店への来店を促す。

- 対象者・人数：親子15～20組（イベントの場合）
小学生1クラスずつ（学校の場合）
- 所要時間：約45分／1回・1クラス
- 指導者・アシスタント人数：生産者5～10名程度
- 実施場所：イベント会場、学校など



- 資材：培養土、緩効性肥料、シャベル、バケツ、プランター、ネームプレート、生産している花と寄せ植えのテキスト、修了証（缶バッジ）



- 花材：深谷市内の各農家で生産されている花

スイセン、バーベナ、西洋オダマキ、ノースポール、パンジー、ビオラ、ナデシコ、ワイヤープランツ、キャットテイル、イレシネ、サントリーナ、レースラベンダー、キンギョソウ、ケイトウ、シャコバサボテンなど



【指導内容と目的】

- ・花産地の生産者として、寄せ植えや寄せかごを作って飾る、あるいは誰かに贈る経験を促し、もっと花のある暮らしを提案する。
- ・子供たちに「花と遊んだ楽しい記憶」を持ってほしい。
- ・地域で花が生産されていることを子供たちに伝え、その花で楽しく寄せ植え作りを体験し、植物を育てる喜びを味わってほしい。
- ・花を飾ることによる環境美化や癒しの効果を体験してほしい。
- ・花を贈ると、贈るほうも贈られたほうも幸せになることを体験してほしい。
- ・その場限りの体験イベントで終わらないよう、花の管理方法を教え、提携する近隣の園芸店への来店を促す。
- ・自宅で長く育てて楽しめるよう、テキストブックを作成し配布する。

■実施要領



① 花壇苗の搬入



② ベンチに土を準備



③ 種類別に苗を並べる



④ 好きな苗を選ぶ



⑤ プランターに土、肥料を入れ、背の高い苗を中央に植える



⑥ 横に広がる花も植えこんで完成

⑦ テキストブックと終了証(缶バッジ)を配布する。後日、提携園芸店に行って缶バッジを見せると、新しい苗などがプレゼントされる